



JUNSEI

製品安全データシート

1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (特級) フェナントレン Phenanthrene
整理番号 62120
作成日 2000年10月5日
改訂日 2010年3月1日

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-4-16
連絡先及び緊急連絡先(MSDS作成担当)
担当部門 営業本部 学術担当
担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1-6
電話番号 048-988-3621 FAX番号 048-988-8719
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
<http://www.junsei.co.jp>

用途と使用上の注意: 本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名: フェナントレン
化学式: C₁₄H₁₀
CAS No: 85-01-8
含有量: 98%
化審法: (4)-635
安衛法: 公表

3, 危険有害性の要約

有害性

吸入した場合...

1. 有害である(致命傷となる)。
2. 蒸気とミストは肺、気道上部を刺激する。
3. アレルギー反応を起こす。

皮膚に触れた場合...

1. 皮膚からの吸収は有害である(致命傷となる)。
2. 皮膚感光刺激を起こすことがある。

眼に入った場合...

1. 粘膜を刺激する。

飲み込んだ場合...

1. 有害である(致命傷となる)。

燃焼生成ガス...

1. 一酸化炭素、二酸化炭素。

4, 応急措置

眼に入った場合

1. 大量の水で最低 15 分間洗浄する。

皮膚に付着した場合

1. 直ちに石けんと大量の水で洗浄する。
2. 汚染した衣服は再使用前に洗浄する。

吸入した場合

1. 新鮮な空気にあてる。
2. 呼吸停止の場合は、人工呼吸を行う。
3. 呼吸困難の場合は、酸素吸入を行う。
4. 医師の診察を受けさせる。

飲み込んだ場合

1. 水で口をすすぎ、医者を呼ぶ。
 2. 必ず医者の指示を受けること。
-

5, 火災時の措置

消火方法

消火要領...

1. 水噴霧。
2. 二酸化炭素、粉末消火剤、アルコールまたはポリマー泡消火剤。

消防活動装備...

1. 防火服。
2. 循環式酸素呼吸器。
3. ゴム手袋。
4. ゴム長靴。

消火剤

1. 水噴霧。
 2. 二酸化炭素。
 3. 粉末消化剤。
 4. アルコールまたはポリマー泡消化剤。
-

6, 漏出時の措置

1. 自給式呼吸器、ゴム長靴および厚手ゴム手袋を着用する。
 2. 掃き集め、袋に入れ、廃棄にそなえて保管する。
 3. 飛散するダスト(粉立ち)を避ける。
 4. 当該物質を完全に移した後、漏出区域を換気し、洗う。
-

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 有害。
2. 眼を刺激する。
3. 皮膚を刺激する。
4. 感光性がある。
5. 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。

6. 粉塵またはヒュームの吸入を避ける。
7. 取扱後に十分に洗浄する。
8. 局所排気を行う(換気を良くする)。

保管

1. 冷乾所に保管。
2. 完全密封。

8, 暴露防止及び保護措置

設備対策

貯蔵上の注意...

1. 冷乾所に保管。
2. 完全密封。

保護具

1. 呼吸用保護具。
2. 安全ゴーグル。
3. 保護手袋。
4. 洗眼器。
5. 安全シャワー。

9, 物理的及び化学的性質

外観等: 淡褐色フレーク状又は白色粉末。溶液は青い蛍光を発する。96 で昇華。

沸点: 340.2

融点: 99.15

比重又は嵩比重: 1.179(25)

溶解度: トルエン、ベンゼン、エーテルに易溶。水に不溶。

10, 安定性及び反応性

引火点: 171.0

混触等: 危険性有

1. 強酸化剤と反応する。

11, 有害性情報

皮膚に触れた場合...

1. 皮膚からの吸収は有害である(致命傷となる)。
2. 皮膚感光刺激を起こすことがある。

眼に入った場合...

1. 粘膜を刺激する。

吸入した場合...

1. 有害である(致命傷となる)。
2. 蒸気とミストは肺、気道上部を刺激する。
3. アレルギー反応を起こす。

飲み込んだ場合...

1. 有害である(致命傷となる)。

急性毒性(RTECS)

経口毒性...

マウス LD50 700 mg / kg

静脈注射...

マウス LD50 56 mg / kg

腹腔内注射...

マウス LD50 700 mg / kg

慢性毒性

1. 軽度ではあるがひとの皮膚の光増感性がある。

がん原性

1. IARC 発がん性評価:3(ひとに対して発がん性があるとは分類されない)動物に対し経度の不明瞭な発がん性のデータあり。

変異原性

1. 培養細胞を用いた染色体異常試験など陽性。

12, 環境影響情報

該当情報なし

13, 廃棄上の注意

可燃性溶剤に溶解または混合し、アフタバーナーおよびスクラッパー付きインシネレーターの中で焼却。

14, 輸送上の注意

該当情報なし

15, 適用法令

旧PRTR法:2-58(フェナントレン)(平成12年3月30日施行)

新PRTR法:非該当()(平成21年10月1日施行)

消防法:第9条の3政令別表第4指定可燃物可燃性固体類(3,000 kg)

TSCA:85-01-8

EINECS:2015815

16, その他の情報

参考文献

化学品安全管理データブック(化学工業日報社)

化学物質管理促進法対象物質全データ(化学工業日報社)

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。